

Q3 血糖値を正しく測るポイントは？

→測りかたで血糖値が変わることがあります。

次のような場合には、正しい測定ができない、あるいはエラーが表示されることがあります。

測定用チップの先端を離すタイミングが早い、または遅い

- 『ピー』と鳴る前に測定用チップ先端を血液から離すと、正しく測定できないことがあります。
- 『ピー』と鳴った後、測定用チップ先端を血液に長く当て続けると、正しく測定できないことがあります。

血液を出してから時間がたった

血液は、空気に触れるとすぐに凝固し始めます。凝固が進んだ血液では、正しく測定できないことがあります。できるだけ早く血糖計で吸引してください。また、測定しなおすときは、穿刺(せんし)した指先の血液を拭き取り、最初からやりなおしてください。

吸引しても測定がはじまらず、血液を付け足した

吸引中、測定用チップを血液から離し、再度血液を吸引すると、その途中で空気が測定用チップの中に入り正しく測定できないことがあります。新しい測定用チップと交換して、血液を適量(約2.5ミリの球状)出し、1回で吸引して測定してください。

血液がなかなか出ず、無理やり押し出した

無理やり押し出すと、組織液の混入により、正しく測定できないことがあります。このようなときは、穿刺(せんし)ペンの添付文書を参照し、穿刺の深さを調節してください。

測定用チップのフィルムシールをはがしてから、時間がたった

測定用チップのフィルムシールをはがしてから時間がたつと、測定用チップ内の試験紙が湿気をおびて、測定値が低くなることがあります。フィルムシールをはがしたら、すぐに血糖計へ装着して測定を始めてください。